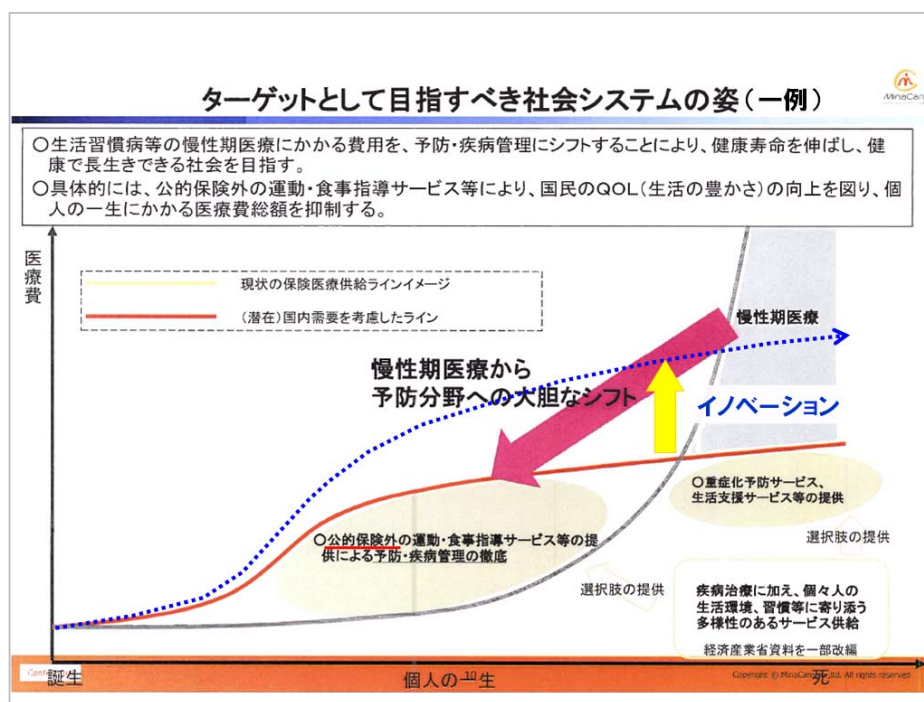


平成25年10月29日

新浪 剛史

## 1. 予防分野への重点のシフトと公的保険外のサービス産業の活性化に重要性

- ◆生活習慣病などの慢性疾患の治療に受け身で対処し、膨大な医療費を個人や社会が負担せざるを得ないような現在の構造は、高齢化が一段と進む将来の我が国では持続可能なものではない。
- ◆また、持続的な経済成長を実現するという観点から見ても、将来の医療、年金その他社会保障面での不確実性の大きさが、個人の消費などを控えさせ、デフレ経済の一つの要因となっているところ。
- ◆今後、深刻な慢性病になってから対処ということではなく、病気に至る前の段階、すなわち「疾病予防」や「未病への対処」、あるいは「健康の増進」といった「予防分野」により重点をシフトしていくことが死活的に重要。



- ◆この際、「予防分野」に大胆にシフトする将来の国民生活を取り巻く社会や経済の状況を見通した場合、薬事や医療のことばかりではなく、より長い時間軸で個々人の健康を捉える視点が必要不可欠。また、予防分野における公的保険外の市場において、関連するサービス産業等が活動しやすい市場環境を創出することが必要。
- ◆例えば、個人が簡易に自らの健康状態をチェックできる機器の普及などを通じたセルフ・メディケーションなどを進めるためには、関連する規制のホワイトゾーン化が極めて有効。

- ◆また、古くから「医食同源」といわれるとおり、「健康」と「食」の分野を企業の創意工夫と組み合わせて、これを産業化していくことが極めて有効。
- ◆例えば、健康志向で、しかも美味しい食材の開発や提供、そうした商品と併せて行われる健康や予防に係る指導サービスを行ったりするミール・ソリューションは、イノベーションの力で生み出したものがほかのサービスなどと融合して、さらに有効な疾病予防や健康増進に力を発揮。
- ◆こうした新市場の創出は、公的医療保険に頼らず、民間企業の創意工夫やイノベーション、新しいサービスの提供などを通じて、より自由で透明なルールの下で市場を育てていくことが必要不可欠。調剤薬局やコンビニエンスストア、ドラッグストアなどが「マチの健康ステーション」として機能していくことが重要。
- ◆そうした観点からの規制制度改革や市場環境の整備の観点からの支援策、医療機関と民間サービス事業者との連携促進のための施策などの措置を講じていくことが必要。
- ◆また、予防分野への重点シフトの過程で、最先端のスーパー・コンピューター等の技術開発を推進していくことが極めて重要。世界最高・最速の計測技術、シミュレーション技術により、疾病の予防、医療機器や創薬等に係る精度の高いシミュレーション分析等を可能にし、我が国が医療分野のイノベーションで世界をリードできる基盤を確保可能。

## 2. 看護師・介護士等医師以外の者の役割の拡大

- ◆予防分野へのシフトや、高齢化の進展に伴う医療と介護等の連携促進を図る観点から、採血などの医療行為について、医師以外の者が携われる医業の範囲を拡大する等して、看護師や介護士等医師以外の者の役割を拡大していくことが必要。
- ◆特に、医師が行わなければならない行為あるいは医師が指示して行わせなくてはならない行為等を見直し、医師は診断等のより高度な業務に集中することにより、医師不足や医師の過剰労働等の問題の解消に貢献するとともに、看護師や介護福祉士が活躍できる場が増えることにより、新たな雇用を創出することにも寄与。

